

## 事例研究報告

寄宿舍全体で取り組む  
スクールワイドPBS  
「寄宿舍スマイルプロジェクト」

## 寄宿舎生の実態

- ・ 受動的な態度の寄宿舎生が多い。
- ・ 寄宿舎生同士で挨拶を交わすことがあまりない。
- ・ 適切な他者との関わり方を身につける必要のある寄宿舎生が多い。
- ・ 一部の寄宿舎生には特定の寄宿舎生との関係が悪いケースがある。

## 指導員の願い

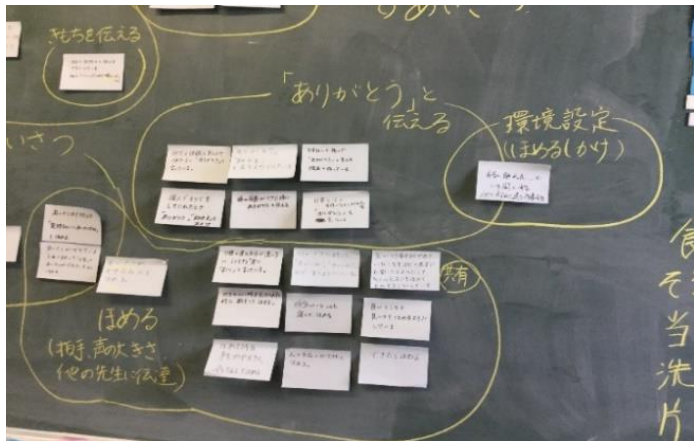
昨年度のポジティブな行動支援の  
取り組みを寄宿舍全体に広げたい。

—寄宿舍生同士の円滑な人間関係を作りたい—

# 年間スケジュール

3月	研究チーム発足	8月	具体的目標の実施計画を作成
6/21	<p>スクールワイドPBSの共通理解を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育センター 指導主事を講師に招いた研修を実施。</li> <li>・「2つの大切」の原案・指導場面の決定。</li> </ul>	9月	<p>指導員で指導方法の確認をする。 テーマを決める。 「寄宿舍スマイルプロジェクト」</p>
6/22 ～ 7/5	<p>「2つの大切」の内容を行動目標に置き換える作業。</p> <p>今年度取り組む具体目標を決定する。</p> <p>※小グループに分かれ意見を出し合う。 (話し合い回数5回。1回30分程度)</p> <p>ベースラインの記録をとる。</p>	10/1  10/2 ～ 12/12	<p>行動目標表を舍内に掲示。 全体集会で舍生に説明。</p> <p>取り組み開始。 第1弾～第5弾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各弾毎に結果を舍生にフィードバックとご褒美設定。</li> <li>・取り組み中、指導員も結果の共有やステップアップできるような目標設定、ご褒美の検討を各弾毎に随時行う。</li> </ul> <p>※話し合いは1回30分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月から取り組む目標について指導員にアンケートをとり選択肢をしぼる。</li> </ul>
7/9	<p>第1回コンサルテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的目標の手立て(A)と結果(C)を書き出す作業をワークにて行う。</li> </ul>	1月	<p>指導員がしぼった目標の中から、新しい目標を寄宿舍生が決める。</p>

# 2つの柱（6月）



普段寄宿舍生を称賛している場面を書き出す。



行動目標表の柱を何にするか話し合う。

2つの柱の場面を決める。

# 行動目標表作成と目標の決定

## 6月～7月

国府支援学校寄宿舎 行動目標設定表

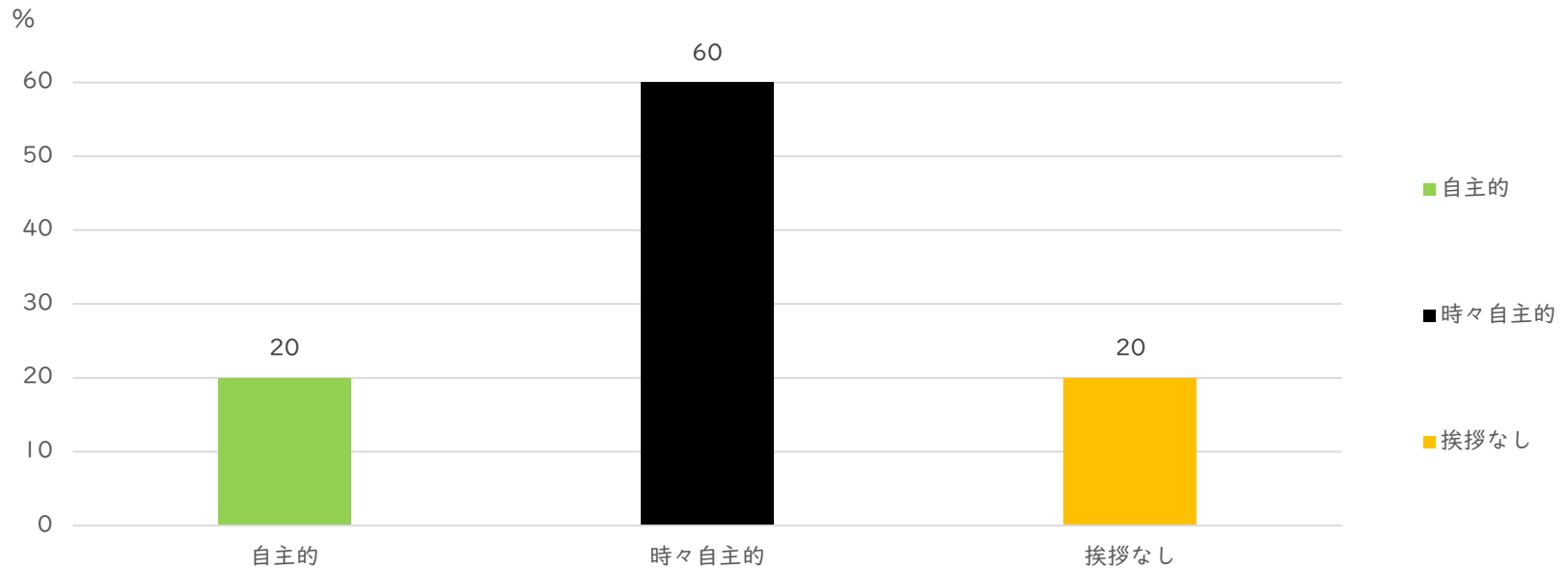
	あいさつ	人の役に立つ (積極性)
朝	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な声の大きさであいさつをしよう</li> <li>相手の方を向いてあいさつをしよう</li> <li>「おはよう」とあいさつをしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食堂掃除をしよう</li> <li>積極的に廊下掃除をしよう</li> <li>お手伝いをしよう</li> </ul>
下校後	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から「ただいま」と言おう</li> <li>友だち同士で「ただいまおかえり」と言おう</li> <li>入室時「失礼します」と言おう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳や手紙を先生に渡そう</li> <li>自室掃除をしよう</li> <li>スリッパやくつをそろえよう</li> </ul>
余暇	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴後「ありがとうございました」と言おう</li> <li>洗濯物干し時「こんばんは」と言おう</li> <li>友だち同士で「おやすみなさい」と言おう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>余暇で使う物の準備をしよう</li> <li>余暇で使った物の片づけをしよう</li> <li>友だちに「洗濯干しに行こう」「片づけよう」と声をかけよう</li> </ul>



	あいさつ	人の役に立つ
朝	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な声の大きさであいさつをしよう</li> <li>相手の方を向いてあいさつをしよう</li> <li>「おはよう」とあいさつをしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食堂掃除をしよう</li> <li>積極的に廊下掃除をしよう</li> <li>お手伝いをしよう</li> </ul>
下校後	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から「ただいま」と言おう</li> <li>友だち同士で「ただいまおかえり」と言おう</li> <li>入室時「失礼します」と言おう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳や手紙を先生に渡そう</li> <li>自室掃除をしよう</li> <li>スリッパやくつをそろえよう</li> </ul>
余暇	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴後「ありがとうございました」と言おう</li> <li>洗濯物干し時「こんばんは」と言おう</li> <li>友だち同士で「おやすみなさい」と言おう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>余暇で使う物の準備をしよう</li> <li>余暇で使った物の片づけをしよう</li> <li>友だちに「洗濯干しに行こう」「片づけよう」と声をかけよう</li> </ul>

# 挨拶の実態（ベースライン）

下校後「ただいま」と挨拶ができる









## • アドバイザーからの助言

- 行動目標表にした行動は、全て称賛することを共有することが大事。
- 行動目標表を整理し、寄宿舎生とも共有できる形にする。
- 話し合った手立てを選択するのではなく、うまく組み合わせると良い。
- 挨拶がない生徒には、まず行動の水準を引き上げる仕掛けが必要となる。
- 行動の水準を引き上げるための仕掛けとして、最初はポイントやご褒美を使うこともよい（ゲーム感覚で楽しんで取り組めるなど、きっかけが必要）。
- 他者との関わりに消極的なケースは、挨拶後のやりとりを少なくする。
- シールやポイントはそのまま記録になる。
- ベースラインとして、様子の観察もしておくと、ポイント制にした時に比較しやすい。

# 助言を受けて実施計画を作成

実施 → 集計  
トバンク(開始) 月(20日)

記録  
↓ 奨学金 ↓ 舎生  
奨 奨  
自覚 奨

100枚の目標  
1枚

全体にキャンペーンの説明

① 100枚の目標  
② 100枚の目標

ポイント

OK

この枚数を求める説明  
基準

100枚  
金が1/2 → ポイント  
職員 2F 大好の舎生  
お声かけ X

個別  
全体  
↓  
手続き  
カード(各)

5秒手フ  
言語賞讃+シル

おあいさつ回数を決める。  
(最低3回) ↓  
ルールなど定める

1人3回  
銀100枚あつめる  
3日

職員で共有  
金銀シルの基準

12

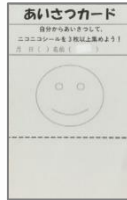
Step 1 100枚のシル3枚  
Step 2 色の説明 全 → ポイント  
達成基準

賛  
旧1枚  
置き場所  
下校時 下馬箱  
(夕食前) 舎室前(ポト)  
(夕食後) 回集 宿直(夕食後)

月日( )  
000  
000

# 指導の手続き

①くつ箱にある自分の挨拶カードを取る。



※第1弾～第3弾 →挨拶カードあり  
第4弾からカードをなくす。



②先生に「ただいま」と挨拶する。

自分から挨拶ができた → 😊 シール  
指導員から挨拶 → ● シール



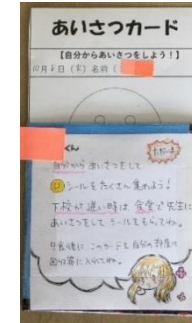
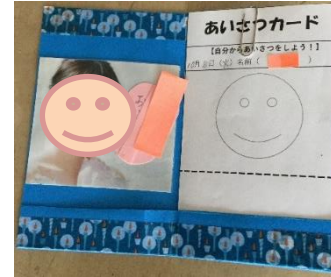
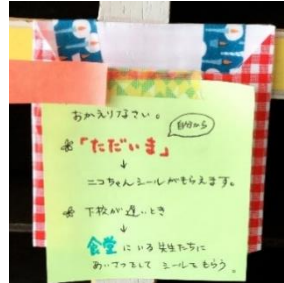
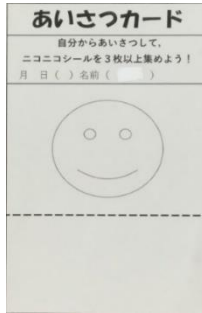
③挨拶カードを自分の部屋のカード入れに入る。



④目標を達成したらご褒美の実施。

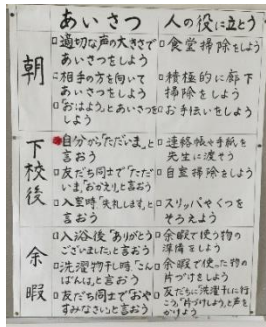
# 教材①

○挨拶カードを，各舎生に合わせて工夫



○舎内に行動目標表や取り組み期間の掲示

行動目標表



取り組み期間表示

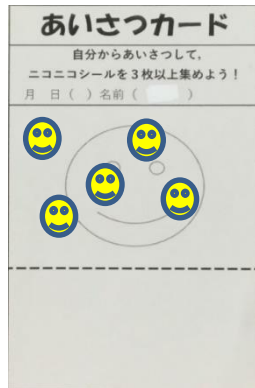


目標表示



# 記録方法と記録

## 第1弾～第4弾（シールあり）



舎生が挨拶して集めた  
😊 シール数を集計表  
に記入。



あいさつカード😊シール数集計表

日付	1F	2F	女子	合計	累計	目標数	日付	1F	2F	女子	合計	累計	目標数
10/2 (水)	54	23	10	87	87		10/3 (木)		4	6			
10/4 (金)	46	20	13	89	176		10/5 (土)		16	5	2	23	
10/6 (日)	25			25	201		10/7 (月)		8	8	2	31	
10/8 (火)	06			130	130		10/9 (水)						
10/9 (木)	21	28	13	62	192		10/10 (金)	38	16	2	56		
10/11 (土)	28	28		56	248		10/12 (日)	28	1	10	39		
10/13 (月)	40			72	320		11/1 (火)	4	28	2	34		
10/14 (水)				18	338		11/2 (木)	20	18	1	39		
10/15 (金)	29	12	85	126	464		11/3 (土)	10	2	13	52		
10/16 (日)		10	13	23	487		11/4 (月)	15	5	17	69		
10/17 (火)				700	700		11/5 (水)	2	1	2	71	1000	
10/18 (木)	44			25	725		11/6 (金)	20	13	2	35		
10/19 (土)				110	835		11/7 (日)	2	2	2	85		
10/20 (月)				110	945		11/8 (火)	2	2	2	87		

## 第4弾・第5弾（シールなし）

月 日 ( ) 名前	😊	●	
1 F	A		
	B		
	C		
	D		
	E		
	F		
	G		
	H		
2 F	I		
	J		
	K		
	L		
女子	M		
	N		
	O		
	P		

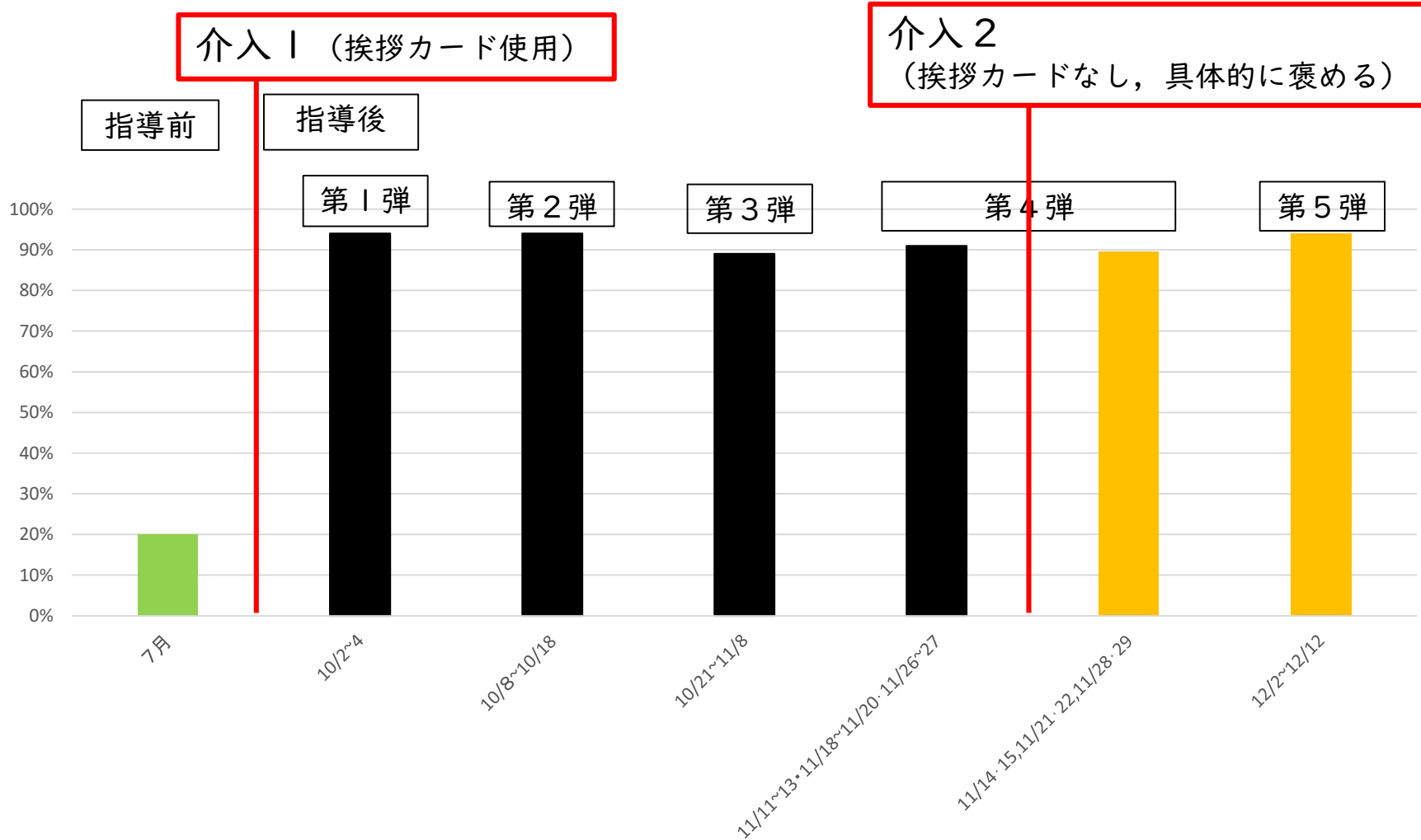
指導員用チェックシートを使用。  
挨拶ができた舎生欄にチェック。  
PCで集計。

# 手続き・目標・ご褒美のステップ

	期間	カード (シール)	目標	カードなし	目標	ご褒美
第1弾	1週間	あり	100枚	/	/	お茶会
第2弾	2週間	あり	700枚	/	/	おやつ会
第3弾	3週間	あり	1000枚	/	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長先生からの評価</li> <li>・映画会</li> </ul>
第4弾	3週間	1週目 (月,火,水)	700枚	1週目 (木,金)	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週,挨拶数の上位3位までを「挨拶マスター」として表彰。</li> </ul>
		2週目 (月,火,水)		2週目 (木,金)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画会 (挨拶マスター賞者が見たいDVDを選べる)</li> </ul>
		3週目 (火,水)		3週目 (木,金)		
第5弾	2週間	1週目(月)	/	1週目 (火,水,木)	「挨拶グランドマスター賞」 8人以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日継続して6人以上に挨拶ができた人を「挨拶グランドマスター」として表彰。</li> </ul>
		/	/	2週目 (月,火,水,木)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕食会</li> </ul>

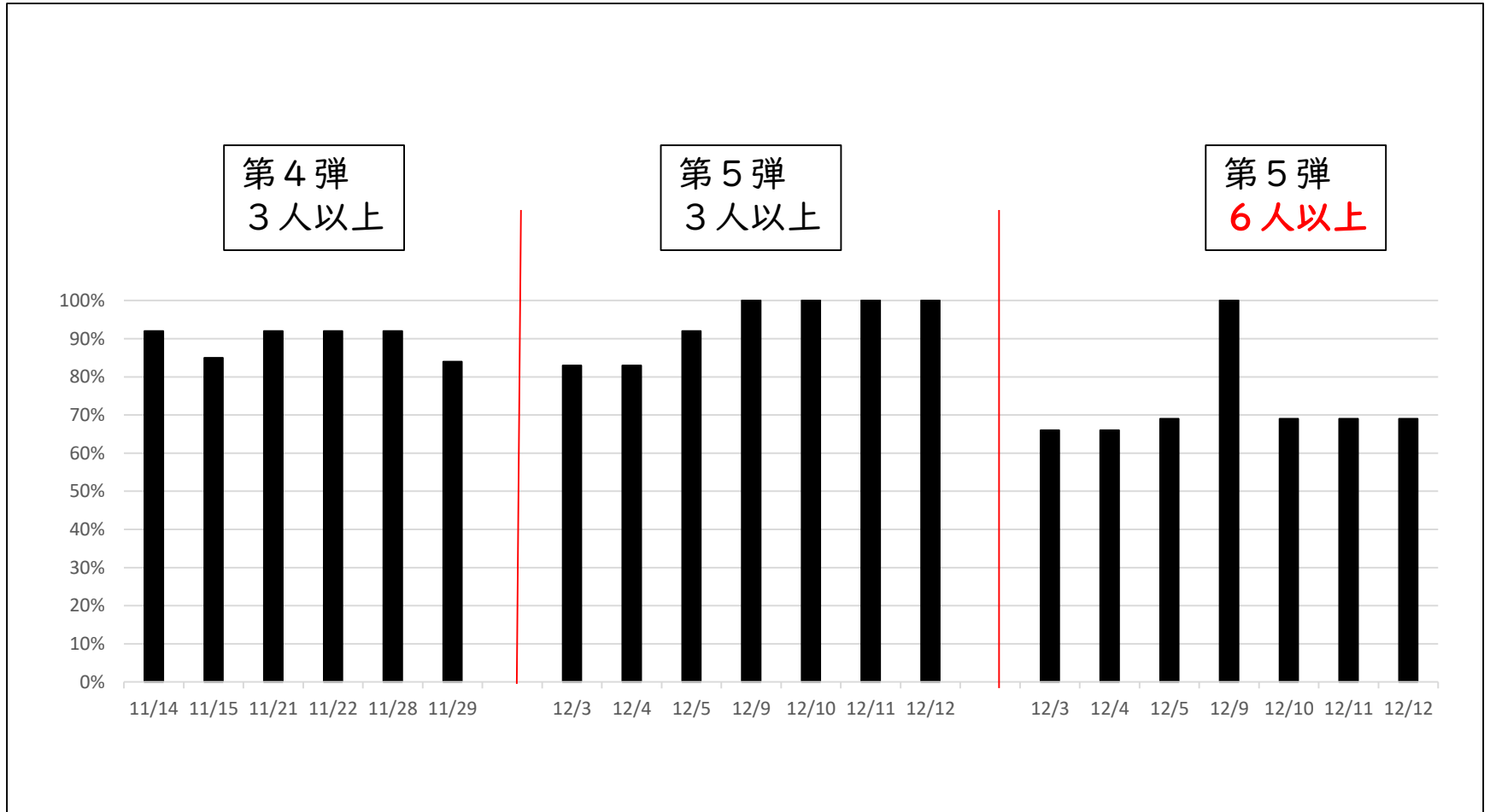
# 指導の成果

自分から「ただいま」と挨拶ができる。  
(3人以上に挨拶)





# 介入2以降のグラフ



# ここが成功のポイント

## 寄宿舎生

- ・寄宿舎生自身が楽しんで取り組める仕掛けを設定した（挨拶カード、表彰、ご褒美）。
- ・毎回目標や取り組み期間を設定し、取り組む内容をわかりやすくした。（指導員にとってもわかりやすかった）
- ・スモールステップで取り組んだことで、シールのフェードアウトがスムーズにできた。
- ・全体集会で結果をフィードバックすることで、成果を実感しながら取り組めた。
- ・それぞれの挨拶レベルに合わせて、手続き内容の見直しを行った。
- ・介入1と介入2で指導員の称賛の仕方を変えた。（挨拶の量から質へ）

## 指導員

- ・できていることに注目する意識を持つようになった。
- ・具体的に称賛することを全員で意識できた。
- ・全員で定期的に話合いながら取り組めた（1回30分、小グループ）。
- ・集計表に掲示することで、指導員間で挨拶に関する話題を自然とするようになった。

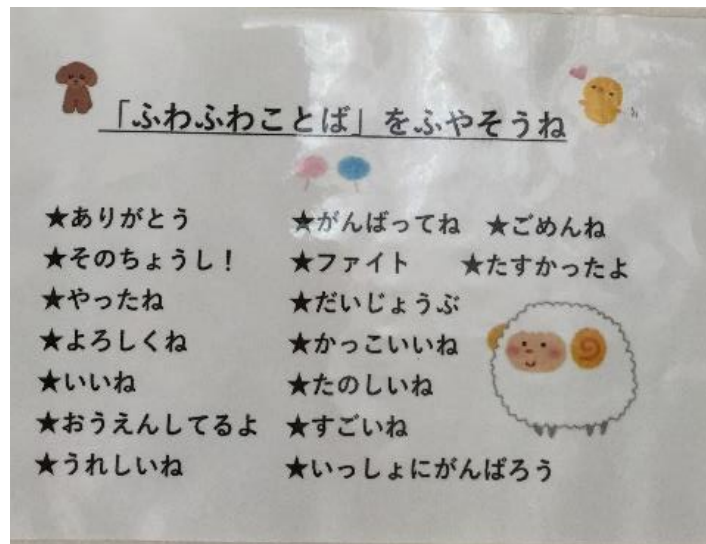
# 各棟での色々な取り組み

良いところ発表



毎週火・木に一人一人の良いところを発表

ふわふわ言葉集め



ふわふわ言葉が使えていたらシールを貼る。

うれしいこと集め



寄宿舍生からの言葉で指導員が嬉しかった時にシールを貼る。  
※指導員からの言葉で嬉しかった時も同様にシールを貼る。

# 今後の取り組みと課題

## ○今後の取り組み

「行動目標表の中から次に取り組む目標を決める。」

- ・短い実施期間を考慮し、寄宿舍生がイメージしやすい「挨拶」の中から選ぶ。
- ・目標を「人」を増やすか「場面」を増やすか、先ずベースラインをとる。
- ・ベースラインの結果を寄宿舍生にフィードバックし、どちらにレベルアップしたいか寄宿舍生が判断するようにして、目標を決定する。

## ○課題

- ・実際の協議に寄宿舍生が関わる機会を増やす（目標決め、ご褒美設定等）。
- ・寄宿舍生が、楽しんで取り組める仕掛け作りをする。